

令和3年度 補助金の見直し

令和4年3月
別府市企画戦略部財政課

令和3年度 補助金の見直しについて

1 目的

第4次別府市行政改革推進計画に基づき、補助金等の公益性、公平性、必要性及び効果を検証して見直しを行い、当該見直した結果を予算に反映させる。

2 見直しの対象

令和元年度に実施した補助金の見直しにおいて、

- ・「縮小」又は「改善」と最終評価された29の補助金
- ・令和元年度以降に新設された補助金など、見直しの対象とならなかった8の補助金

3 見直しの手順

(1) 自己評価

各担当課において、継続、改善、縮小、廃止の評価

(2) ヒアリング

財政課において、各担当課から自己評価の内容などをヒアリング

(3) 最終評価

財政課において、自己評価やヒアリングの内容を踏まえて評価

(4) 予算に反映

最終評価の内容を次年度予算に反映

4 評価方法

別府市補助金等交付指針等により、次の4つの区分で評価

継続：指針の交付基準を満たしているものなど

改善：何らかの改善が必要なものなど

縮小：補助対象経費の変動等により、補助金の減額が適当と判断されるものなど

廃止：指針に沿っていないものなど

5 最終評価

(単位：千円)

評価区分	件数	令和3年度 予算額	令和4年度 予算額	増減額
継続	18	109,481	106,905	▲ 2,576
改善	11	103,874	112,191	8,317
縮小	3	7,852	6,302	▲ 1,550
廃止	5	800	0	▲ 800
合計	37	222,007	225,398	3,391

令和3年度 補助金の見直し 一覧表

No.	部名	課名	補助金名称	最終評価	頁
1	総務部	職員課	自主研修助成金	廃止	3
2	企画戦略部	政策企画課	別府市生活バス路線維持費補助金	改善	3
3	観光・産業部	観光課	別府駅等案内所運営費補助金	改善	3
4	観光・産業部	観光課	別府市観光協会運営費補助金	改善	4
5	観光・産業部	観光課	誘客推進事業費補助金	改善	4
6	観光・産業部	観光課	ボランティアガイド育成事業費補助金	改善	4
7	観光・産業部	観光課	油屋熊八翁顕彰会事業費補助金	改善	5
8	観光・産業部	観光課	別府市コンベンション振興協議会補助金	継続	5
9	観光・産業部	温泉課	温泉建設等補助金	継続	5
10	観光・産業部	文化国際課	別府マーチング&カーニバル実行委員会負担	継続	6
11	観光・産業部	産業政策課	温泉コンシェルジュ人材育成支援事業費補助金	廃止	6
12	観光・産業部	産業政策課	別府商工会議所補助金	改善	6
13	観光・産業部	産業政策課	竹・ルネサンス事業負担金	継続	7
14	観光・産業部	農林水産課	別府市園芸組合連合会補助金	継続	7
15	観光・産業部	農林水産課	沿岸漁業振興特別対策事業費補助金	継続	7
16	市民福祉部	共生社会実現・部落差別解消推進課	全日本同和会県連合会別府支部補助金	縮小	8
17	市民福祉部	共生社会実現・部落差別解消推進課	部落解放同盟県連合会別府支部補助金	縮小	8
18	市民福祉部	高齢者福祉課	地区敬老会交付金	改善	8
19	市民福祉部	高齢者福祉課	敬老祝金交付金(長寿祝金)	継続	9
20	市民福祉部	高齢者福祉課	別府市老人クラブ連合会活動費補助金	継続	9
21	市民福祉部	高齢者福祉課	別府市老人クラブ連合会事業費補助金	継続	9
22	市民福祉部	高齢者福祉課	別府市単位老人クラブ補助金	継続	10
23	市民福祉部	障害福祉課	聴覚障害者用ファクシミリ貸与助成金	廃止	10
24	市民福祉部	障害福祉課	別府市身体障害者福祉団体協議会運営費補助金	改善	10
25	市民福祉部	障害福祉課	ユニバーサルデザインタクシー購入費補助金	廃止	11
26	市民福祉部	障害福祉課	福祉バス研修事業補助金	継続	11
27	いきいき健幸部	健康推進課	ノルディック・ウォークポール購入費補助金	縮小	11
28	いきいき健幸部	保険年金課	はり・きゅう・マッサージ施術費補助金(後期高齢者医療)	継続	12
29	いきいき健幸部	保険年金課	はり・きゅう・マッサージ施術費補助金(国民健康保険事業)	継続	12
30	いきいき健幸部	スポーツ推進課	湯けむり健康マラソン大会事業費補助金	継続	12
31	いきいき健幸部	スポーツ推進課	スポーツキャンプ等誘致推進事業補助金	継続	13
32	建設部	都市計画課	アスベスト調査補助金	継続	13
33	市長公室	自治連携課	市民活動支援補助金	継続	13
34	防災局	防災危機管理課	別府市暴力絶滅対策協議会補助金	改善	14
35	教育部	学校教育課	別府市中学校体育連盟補助金	継続	14
36	教育部	社会教育課	町内公民館事業費補助金	改善	14
37	教育部	社会教育課	町内公民館連合会補助金	廃止	15

令和3年度 補助金の見直し

No.	1	部名	総務部	課名	職員課
補助金名称	自主研修助成金				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	0		150		△ 150
自己評価	自己評価の内容				
継続	要綱にて、各種資格取得に要した経費の2分の1(ただし上限は3万円)を該当職員に助成している。 複雑化する職務に対し、職員の自己啓発意欲及び資質を高めることは必要不可欠であり、本助成を継続して行うことにより今後もより一層の職員の能力向上が期待できる。				
最終評価	最終評価の内容				
廃止	当補助制度を活用する職員が一部であり、また、補助金交付による効果が明確でないため、廃止とされたい。				

No.	2	部名	企画戦略部	課名	政策企画課
補助金名称	別府市生活バス路線維持費補助金				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	13,916		12,636		1,280
自己評価	自己評価の内容				
改善	要綱に定めている2路線(内成線及び仙人田線)の欠損額に対して補助を行っている。利用状況は低いが、地域住民にとって貴重な交通手段であり、路線存続のためには補助が必要である。令和3年度利便性向上のため路線及びダイヤ再編の検討を実施。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	交通不便地域の住民にとって、必要不可欠な交通手段であるため、公益性は高いものの、利用率が低いため、不採算が続いている。今後、公共交通計画に基づき、地域住民の意見を聞きながら、効率的な運行や新たな代替手段を検討されたい。				

No.	3	部名	観光・産業部	課名	観光課
補助金名称	別府駅等案内所運営費補助金				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	11,542		10,265		1,277
自己評価	自己評価の内容				
継続	令和2年度はコロナの影響により観光業としては非常に大きな影響を受けており、自主財源については、前回から大きく改善できたとは言えないが、コロナ禍においても積極的にGoToトラベルの地域共通クーポンを取扱い、案内所の利用者が増えた。前回の指摘について営業努力は見られる。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	財務状況をはじめとした運営実態を把握・分析し、運営の効率化を促されたい。また、補助金の適正な執行を確保するため、事業実施内容を精査し、補助効果の確認を行った上で補助金を交付されたい。				

令和3年度 補助金の見直し

No.	4	部名	観光・産業部	課名	観光課
補助金名称	別府市観光協会運営費補助金				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	29,880		24,600		5,280
自己評価	自己評価の内容				
継続	新規会員の獲得などにより、自主財源の確保等、補助金以外の財源の確保を行ってきたはいるが、日本全体でコロナの影響を受けており、行政の補助なしでは厳しい部分がある。観光立市としてコロナ後の観光需要に対応するために継続が必要であるとともに、目的に応じた適切な執行に努める。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	財務状況をはじめとした運営実態を把握・分析し、運営の効率化を促されたい。				

No.	5	部名	観光・産業部	課名	観光課
補助金名称	誘客推進事業費補助金				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	13,878		13,379		499
自己評価	自己評価の内容				
継続	令和2年度はコロナ禍もあり、どの施設も財政的に厳しく広告料の収入が無くなったなど、例年ではあるはずの収益がなかったが、観光協会として、コロナ禍においてもできるだけ誘客活動を行っている。今後も自主財源の確保に努力する。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	新型コロナウイルスの影響により自主財源の確保や事業実施が困難であったと思慮されるが、事業計画の変更があった際は、期待する効果、補助対象経費を明確化するとともに、必要な補助金額を見積もり、補助執行されたい。				

No.	6	部名	観光・産業部	課名	観光課
補助金名称	ボランティアガイド育成事業費補助金				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	810		810		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	令和2年度事業においては、観光ガイドの育成の他、パンフレット・動画の作成など行った。当初の予定では「九州観光ボランティアガイド大会」に参加する予定だったが中止となったため、アフターコロナに備え新コースの造成を行うこととした。ウィズコロナに沿った事業展開であった。余剰金の返還等については今後収支状況を見つつ協議していきたい。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	使途や目的を明確にし、必要最小限の補助金を交付されたい。また事業完了後、余剰金が生じた場合は、補助金の減額あるいは返還を求める対応を検討されたい。				

令和3年度 補助金の見直し

No.	7	部名	観光・産業部	課名	観光課
補助金名称	油屋熊八翁顕彰会事業費補助金				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	369		369		0
自己評価	自己評価の内容				
改善	この事業においては継続すべきものであるが、補助金については繰越金等の状況により協議したい。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	事業費に見合った必要最小限度の補助金を見積り、適切に執行されたい。				
No.	8	部名	観光・産業部	課名	観光課
補助金名称	別府市コンベンション振興協議会補助金				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	30,000		30,000		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	学会等で別府市への宿泊者数が増えれば増えるほど、別府市への経済波及効果も大きくなる。また、MICEの誘致においては補助金制度があるということは非常に大きなアドバンテージとなる。コンベンション誘致から別府市の知名度・観光推進に繋げる役割を担っているため、継続して補助したい。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	今後も運営状況により適宜見直しを行うとともに、適正に補助金を交付されたい。				
No.	9	部名	観光・産業部	課名	温泉課
補助金名称	温泉建設等補助金				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	3,000		2,000		1,000
自己評価	自己評価の内容				
継続	共同温泉組合長から要望の多かった貸付金制度を利用しない補助金制度の創設により、温泉運営に支障のある軽微な補修や浴槽内階段設置といったバリアフリー対応に関して、即応性の高い予算執行を可能とする補助金として温泉資源の保護、確保に寄与している。 また、従来の貸付金補助金制度より書類確認等が少なく、温泉組合側にも相談しやすい制度の提供につながった。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	申請内容を精査の上、適正に補助金を交付されたい。				

令和3年度 補助金の見直し

No.	10	部名	観光・産業部	課名	文化国際課
補助金名称	別府マーチング＆カーニバル実行委員会負担				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	2,000		1,500		500
自己評価	自己評価の内容				
継続	音楽文化の向上のみならず、観光振興にも寄与している。今後も県内外から多くの来場者が集まるイベントとして定着を図るため補助が必要と考える。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	今後も補助効果の確認を行いながら、適正に補助金を交付されたい。				

No.	11	部名	観光・産業部	課名	産業政策課
補助金名称	温泉コンシェルジュ人材育成支援事業費補助金				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	0		94		△ 94
自己評価	自己評価の内容				
継続	新型コロナウイルス感染症の影響等により直近での申請はないが、アフターコロナを見据え、地域ブランディング人材を育成することで、地域全体のおもてなし能力を向上させるために、補助を継続したい。				
最終評価	最終評価の内容				
廃止	平成30年度から補助金の交付がなく、補助効果が測られない状況が続いていることから、廃止とされたい。				

No.	12	部名	観光・産業部	課名	産業政策課
補助金名称	別府商工会議所補助金				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	8,000		8,000		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	別府商工会議所は、地域唯一の総合経済団体であり、別府市の事業所の大半を占める中小企業の生の声を拾い上げ、それに基づいたサポートをおこなっている。地域活性化のためにも、これまで以上に連携し、商工振興対策を展開していく必要があるため、継続して補助いたしたい。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	補助対象経費、補助の成果を明確にし、必要最小限度の補助金を交付されたい。				

令和3年度 補助金の見直し

No.	13	部名	観光・産業部	課名	産業政策課
補助金名称	竹・ルネサンス事業負担金				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	1,000		1,000		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	竹・ルネサンス実行委員会は、行政、竹産業界、民間企業により構成され、「竹と月夜の調べ」や「くらしの中の竹工芸展」等の企画展を協働して開催していくことで竹産業の振興発展に大きく貢献している。今後も伝統的工芸品「別府竹細工」の普及・発展のためには、本委員会への補助の継続は不可欠である。また、補助金額については、令和元年度の評価内容を受け、令和2年度から減額している。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	令和2年度より補助金額を減額している。コロナ禍等によりイベントが中止になり、現状評価しがたい面もあるが、金額の妥当性について、引き続き検討されたい。				

No.	14	部名	観光・産業部	課名	農林水産課
補助金名称	別府市園芸組合連合会補助金				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	195		195		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	現在、市独自での生産者向け栽培技術研修会等は開催しておらず、生産者の栽培技術向上や生産現場の新たな情報を収集する場として別府市園芸組合連合会が重要な役割を担っている。 コロナ禍で農産物の個人消費が増加している中、市民生活に欠くことの出来ない地元産野菜の安定生産・供給のためにも今後も継続して補助を行っていく必要がある。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	令和元年度の評価を基に、対象経費を視察研修に係るものに限定した点については改善が見受けられる。また事業完了後、余剰金が生じた場合は、返還を求めるなど、補助金の適正な執行を確保されたい。				

No.	15	部名	観光・産業部	課名	農林水産課
補助金名称	沿岸漁業振興特別対策事業費補助金				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	0		2,334		△ 2,334
自己評価	自己評価の内容				
継続	別府市の各漁港にある施設は耐用年数を迎えるものも多く、漁業者の事故防止及び作業効率向上のため、年度毎に更新していかなければならない。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	申請内容を精査の上、適正に補助金を交付されたい。				

令和3年度 補助金の見直し

No.	16	部名	市民福祉部	課名	共生社会実現・部落差別解消推進課
補助金名称	全日本同和会県連合会別府支部補助金				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	2,401		2,426		△ 25
自己評価	自己評価の内容				
縮小	差別がある限り関係団体との連携が必要である。補助金については関係団体と協議しながら従来どおり縮小していきたい。				
最終評価	最終評価の内容				
縮小	自己評価のとおり、対象団体と協議し、補助金額を縮小されたい。				

No.	17	部名	市民福祉部	課名	共生社会実現・部落差別解消推進課
補助金名称	部落解放同盟県連合会別府支部補助金				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	2,401		2,426		△ 25
自己評価	自己評価の内容				
縮小	差別がある限り関係団体との連携が必要である。補助金については関係団体と協議しながら従来どおり縮小していきたい。				
最終評価	最終評価の内容				
縮小	自己評価のとおり、対象団体と協議し、補助金額を縮小されたい。				

No.	18	部名	市民福祉部	課名	高齢者福祉課
補助金名称	地区敬老会交付金				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	30,546		30,560		△ 14
自己評価	自己評価の内容				
改善	令和3年度に地区敬老行事参加者を増加させる施策を企画し、新型コロナウイルス感染が収束後に実施する。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	福祉サービス事業あり方検討委員会からの意見を踏まえ、高齢者の社会参加を促進する仕組みを早急に検討されたい。				

令和3年度 補助金の見直し

No.	19	部名	市民福祉部	課名	高齢者福祉課
補助金名称	敬老祝金交付金(長寿祝金)				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	8,800		8,550		250
自己評価	自己評価の内容				
継続	令和元年度に福祉サービス事業あり方検討委員会を設置し、福祉サービスのあり方の検討を行い、本事業の実施に係る条例について令和2年度に見直され、100歳を迎えた方を対象に支給されるものに変更されたものである。今後も引き続き本事業の実施していきたい。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	福祉サービス事業あり方検討委員会による検討結果を基に、必要な見直しをされたことから今後の継続は妥当とする。				

No.	20	部名	市民福祉部	課名	高齢者福祉課
補助金名称	別府市老人クラブ連合会活動費補助金				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	2,511		2,526		△ 15
自己評価	自己評価の内容				
継続	老人福祉法第13条に基づき老人クラブに対して市町村は支援に努めなければならない、国、県、市においてそれぞれ交付要綱に基づいて補助している。今後も引き続き老人クラブの活動を支援し、高齢者ができるかぎり自立し、生きがいを持ち、安心して暮らせる社会づくりを推進するため補助金交付が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	補助対象経費を精査の上、適正に補助金を交付されたい。				

No.	21	部名	市民福祉部	課名	高齢者福祉課
補助金名称	別府市老人クラブ連合会事業費補助金				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	960		960		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	老人福祉法第13条に基づき老人クラブに対して市町村は支援に努めなければならない、国、県、市においてそれぞれ交付要綱に基づいて補助している。今後も引き続き老人クラブの活動を支援し、高齢者ができるかぎり自立し、生きがいを持ち、安心して暮らせる社会づくりを推進するため補助金交付が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	事業費補助については補助対象経費を精査の上、適正に補助金を交付されたい。				

令和3年度 補助金の見直し

No.	22	部名	市民福祉部	課名	高齢者福祉課
補助金名称	別府市単位老人クラブ補助金				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	4,181		4,251		△ 70
自己評価	自己評価の内容				
継続	老人福祉法第13条に基づき老人クラブに対して市町村は支援に努めなければならない、国、県、市においてそれぞれ交付要綱に基づいて補助している。今後も引き続き老人クラブの活動を支援し、高齢者ができるかぎり自立し、生きがいをもち、安心して暮らせる社会づくりを推進するため補助金交付が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	福祉サービス事業あり方検討委員会からの意見を踏まえ、老人クラブの参加促進を図るための見直しがなされている。次回の補助金見直しにて、効果を検証されたい。				

No.	23	部名	市民福祉部	課名	障害福祉課
補助金名称	聴覚障害者用ファクシミリ貸与助成金				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	0		26		△ 26
自己評価	自己評価の内容				
廃止	昨今の聴覚障害者における情報通信方法の多様化などを考慮し、固定電話並びにファクシミリ貸与による補助金が妥当であるかを検討した。地域生活支援事業による日常生活用具給付事業における情報・意思疎通支援用具(聴覚障害者用通信装具)の給付で、聴覚障害者の意思疎通支援が補えていることから今年度要綱改正を行い、経過措置を経て本補助金を廃止との方向とする。				
最終評価	最終評価の内容				
廃止	自己評価のとおり、本補助金は廃止とされたい。				

No.	24	部名	市民福祉部	課名	障害福祉課
補助金名称	別府市身体障害者福祉団体協議会運営費補助金				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	957		957		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	本協議会は、身体障がい者の生活と安定を目的とし、社会参加を推進する各身障協会との交流を行い、市行政と身体障がい者間の連絡に努め、外出困難な在宅障がい者を含めたレクリエーションを実施する等、自らが多くの福祉事業を実施しているため、その活動により身体障がい者の福祉の増進が図られているものであることから、当該団体の運営費に対して引き続き補助する必要があるものとする。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	補助対象団体と継続して補助金に係る協議を行うとともに、補助金の適正な執行を確保するため、事業の実績報告を受けた場合は、その内容を精査し、補助効果の確認を行われたい。				

令和3年度 補助金の見直し

No.	25	部名	市民福祉部	課名	障害福祉課
補助金名称	ユニバーサルデザインタクシー購入費補助金				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	0		500		△ 500
自己評価	自己評価の内容				
廃止	市内タクシー事業所への調査により、市内ユニバーサルデザインタクシーの目標台数を達成し充足したため、今年度要綱を改正し経過措置を含め廃止の方向とする。				
最終評価	最終評価の内容				
廃止	自己評価のとおり、目標台数を達成したため、廃止とされたい。				

No.	26	部名	市民福祉部	課名	障害福祉課
補助金名称	福祉バス研修事業補助金				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	1,000		1,000		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	障害者総合支援法(平成17年法律第123号)第77条第3項の規定に基づき実施する地域生活支援事業として、障がい者の社会参加の促進に必要な事業である。また、主に難病連が行っている、総会、理事会、意見交換会への参加についても別府市身体障害者(児)福祉バス借り上げ事業実施要綱5条により、社会参加促進の事業として適合していると考ええる。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	申請内容を精査の上、適正に補助金を交付されたい。				

No.	27	部名	いきいき健幸部	課名	健康推進課
補助金名称	ノルディック・ウォークポール購入費補助金				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	1,500		3,000		△ 1,500
自己評価	自己評価の内容				
継続	令和2年度、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ノルディックウォークに関連する各種教室、イベントの縮小、中止が余儀なくされ、市民の方が体験会をする機会が減少した。今年度、感染拡大防止対策を徹底して行う教室等で改めて体験を行い、広報をしていくことで利用者の拡大を図り市民の健康増進につなげていきたい。				
最終評価	最終評価の内容				
縮小	令和2年度においては、新型コロナウイルスが拡大する中で、健康教室を開催できず、補助制度の周知ができなかったことにより、申請件数も伸びなかったことと思慮される。健康増進の観点から有効性はあると判断できるため、引き続き健康教室などで広報に努め、次回の補助金見直しにて継続の可否を判断したい。				

令和3年度 補助金の見直し

No.	28	部名	いきいき健幸部	課名	保険年金課
補助金名称	はり・きゅう・マッサージ施術費補助金(後期高齢者医療)				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	20,508		20,792		△ 284
自己評価	自己評価の内容				
継続	元年度の自己評価及び最終評価を踏まえ、No.29と統合し、年齢制限を設けた上で市民を対象とする方向(自己評価の検討案①)で庁内協議を行ったが、同様の方法で先行実施した大分市の状況等から、年齢制限を設けたとしても対象者の増により市の負担が増加する可能性が出てきたため、見直作業を中断した。 なお、現時点で制度の見直しに至っていないため、令和4年度中に稼働予定の国保市町村事務処理標準システムにおいて、当該補助金に関する機能を維持(外付け機能を搭載)することとしている。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	公益性、有効性、公平性などの観点から、補助金見直しを行っているものの、他市の状況から財政負担が増える可能性があるためと推測ができるため、現行制度のまま継続することが望ましい。				

No.	29	部名	いきいき健幸部	課名	保険年金課
補助金名称	はり・きゅう・マッサージ施術費補助金(国民健康保険事業)				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	17,600		17,897		△ 297
自己評価	自己評価の内容				
継続	元年度の自己評価及び最終評価を踏まえ、No.28と統合し、年齢制限を設けた上で市民を対象とする方向で庁内協議を行ったが、同様の方法で先行実施した大分市の状況等から、年齢制限を設けたとしても対象者の増により市の負担が増加する可能性が出てきたため、見直作業を中断した。 なお、現時点で制度の見直しに至っていないため、令和4年度中に稼働予定の国保市町村事務処理標準システムにおいて、当該補助金に関する機能を維持(外付け機能を搭載)することとしている。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	公益性、有効性、公平性などの観点から、補助金見直しを行っているものの、他市の状況から財政負担が増える可能性があるためと推測ができるため、現行制度のまま継続することが望ましい。				

No.	30	部名	いきいき健幸部	課名	スポーツ推進課
補助金名称	湯けむり健康マラソン大会事業費補助金				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	1,000		1,000		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	令和元年度までは市が主催で大会運営を行っていた。令和2年度から別府市陸上競技協会の主催で大会を運営することとなり、令和2年度から3年間、大会運営費補助金の交付をすることとなった。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	平成30年度から補助金額を減額しており、独立採算を目指している状況であるため、次回の補助金見直しにて継続の可否を判断したい。				

令和3年度 補助金の見直し

No.	31	部名	いきいき健幸部	課名	スポーツ推進課
補助金名称	スポーツキャンプ等誘致推進事業補助金				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	5,000		6,550		△ 1,550
自己評価	自己評価の内容				
継続	令和2年度はコロナ禍のため申請が思うように伸びなかった。申請団体も大分県内が多かったと感じる。今後、ワクチン接種等でコロナが収束してくると県外からも申請が増えてくると予想される。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	令和2年度から新設された補助金であり、コロナ禍の状況で申請者が少なく、評価が難しい状況である。コロナウイルス終息後には競技力の向上及びスポーツ観光の推進、本市の情報発信に努めていただきたい。				

No.	32	部名	建設部	課名	都市計画課
補助金名称	アスベスト調査補助金				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	750		750		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	市民の健康の保護・生活環境の保全促進のためには、補助金の交付を行うことが最も効果的かつ効率的な手法であるため、今後も継続して補助を実施したい。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	申請内容を精査の上、適正に補助金を交付されたい。また、補助効果が表れるよう市民への周知に努められたい。				

No.	33	部名	市長公室	課名	自治連携課
補助金名称	市民活動支援補助金				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	2,600		2,600		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	協働のまちづくりを推進するため、地域課題の解決に向けて公益的な活動を行うNPO法人や市民活動団体に対して補助金を交付している。NPO法人や市民活動団体の組織強化、人材育成、中間支援活動を支援することにより、地域活動の活性化につなげるため、補助金の継続が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	制度開始からまだ日が浅く、実績が乏しいことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、執行を見送った年度もあるが、制度設計及び運用については一定程度的評価に値する。今後も、実績報告書により対象経費をよく精査した上で、適正に補助金を交付されたい。				

令和3年度 補助金の見直し

No.	34	部名	防災局	課名	防災危機管理課
補助金名称	別府市暴力絶滅対策協議会補助金				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	65		70		△ 5
自己評価	自己評価の内容				
継続	令和2年度はコロナ禍で協議会会員の会費を未徴収としたため、経費不足により例年行う啓発用看板整備が未整備となった。啓発用看板整備は単年度予算では困難であり、繰越金として残しておく必要がある。令和3年度以降は、啓発用看板の整備を含め、市民の暴力追放意識の啓発を実施していく必要性から補助が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	毎年度、固定した額の補助金を支出するのではなく、活動状況に応じた必要最小限度の補助金を交付されたい。また、繰越金が発生した場合は精算による返還、あるいは補助金の減額などの対応を求める。				

No.	35	部名	教育部	課名	学校教育課
補助金名称	別府市中学校体育連盟補助金				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	5,800		5,576		224
自己評価	自己評価の内容				
継続	コロナ禍により各種大会が中止される中、本補助事業によって保護者負担の軽減を図るとともに、上位大会への出場機会を得た生徒全員の参加機会を保障することができた。 今後、生徒減少に伴い、会費の減少も見込まれることから、円滑な大会運営や上位大会への出場を目指す生徒のため、補助金の継続した支援が必要である。				
最終評価	最終評価の内容				
継続	補助金の継続は妥当と認められるが、各種大会の運営について適宜見直しを行うとともに、補助金交付要綱を策定のうえ、適正に補助金を交付されたい。				

No.	36	部名	教育部	課名	社会教育課
補助金名称	町内公民館事業費補助金				
予 算 額	令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		増減額(千円)
	2,228		2,228		0
自己評価	自己評価の内容				
継続	令和2年度は、コロナにより計画どおりに事業を行うことが出来なかったが、事業を行っていく上で、必要な補助金であるとする。				
最終評価	最終評価の内容				
改善	「ひとまもり・まちまもり自治区事業費補助金」と補助対象者がほぼ重複しており、利用者の利便性や補助効果の観点から、将来的に統合を含め、補助金制度の整理を検討されたい。				

令和3年度 補助金の見直し

No.	37	部名	教育部	課名	社会教育課
補助金名称	町内公民館連合会補助金				
予 算 額		令和4年度(千円)	令和3年度(千円)	増減額(千円)	
		0	30	△ 30	
自己評価	自己評価の内容				
改善	町内公民館連合会の活動を行うために、補助金を交付している。各町内公民館から3,000円ずつ徴収しており、過去の決算状況では、令和2年度はコロナにより研修などが中止となり、繰越が毎年発生している。今後公民館連合会と協議し、必要最小限の金額を補助していきたいと考える。				
最終評価	最終評価の内容				
廃止	直近3か年の収支から、各町内公民館からの会費や前年度繰越金等の補助金を除いた収入額の範囲内で運営を行っており、交付額も少額で、補助の必要性や有効性が低いと見受けられるため、廃止とされたい。				